

第 32 回日本臨床薬理学会年会 in 浜松 ブース展示

2012年12月1日(木)～3日(土)第32回日本臨床薬理学会年会 in 浜松において治験促進センターの活動を周知するため展示を行った。

ブースは、以下の3つのテーマを軸に展示いたしました。

① カット・ドゥ・スクエア (統一書式入力支援システム)

カット・ドゥ・スクエアの新機能のデモンストレーションを行いました。新機能とは、治験審査委員会の権限における治験審査結果通知書(書式5)の一括作成および治験審査委員会議事概要作成機能、並びに医師主導治験対応と来年2月に公開予定のパワーアップするシステムを紹介しました。また、12月2日には、電子署名特設体験コーナーを設けました。



② 臨床試験のための e-Training Center

e-Training Center のデモンストレーションおよび概略を紹介しました。管理機能を強化したグループ機能についてはパネルでも説明し、申請の受付を会場で行いました。

③ 治験啓発コーナー

今回の治験啓発コーナーでは、医療機関等が一般の方・院内スタッフに対し、効率的な治験の実施のために行っている啓発活動を、全国の医療機関に紹介することを目的にオリジナル治験啓発グッズのコンテストを開催し、投票コーナーを設け来訪者の方々に投票いただきました。

募集概要、出展作品および投票結果は、別途報告しています。

(http://dbcentre2.imacct.med.or.jp/torikumi/goods_contest2011.html)



多くの治験関係者にお立ち寄りいただき
感謝いたします。

掲載の写真、文書等資料の無断転載を禁じます。